

第44回 自然史標本データ整備事業による標本情報の発信に関する研究会

「自然史博物館の画像公開を考える：実務とシステムの両面から」

2025年2月23日(日) 13時00分～16時30分

主催：国立科学博物館

共催：大阪市立自然史博物館

協力：NPO 法人西日本自然史系博物館ネットワーク

注意事項

- ・可能であれば、ご自身の名前を正しくご表示ください。
- ・発言時以外はマイクとビデオをオフにしてください。

お願い

- 可能であれば、ご自身の名前を正しくご表示ください。
下部のタスクバーで[参加者]をクリックして[参加者]ペインを開き、参加者名の右側をクリックし、[名前の変更]を選択して名前を変更します。
- 発言時以外はマイクとビデオをオフにしてください。
画面の下にマウスを動かすと、下のタスクバーが表示されます。タスクバーの[ミュート]および[ビデオの停止]をクリックし、マイクをミュートに、カメラをオフにすることができます。
- 質問は[チャット]でお知らせください。
「送信先」から「全員」を選び、「ここにメッセージを入力します・・・」に入力して送信してください。
- 参加者側での録音・録画はご遠慮ください。
発表資料は研究会終了後に公開予定です。
- 本研究会についてのアンケートへの協力をお願いいたします。
詳細は最後にお知らせいたします。

第44回S-Net研究会

2025.2.23

イントロダクション

国立科学博物館
標本資料センター
神保 宇嗣



生物標本

＝ある生物がいつ、どこにいたかを示す物的証拠
＝さまざまな形で利用できる資源

膨大な標本の蓄積



モノ＝標本としての
利活用

コト＝情報としての
利活用

標本のデジタル化

標本・資料の情報をパソコン等で入力
コンピュータを通じて利用可能な形にする



標本ラベル
(名称・採集日・収蔵場所等)



写真撮影

博物館A



博物館B



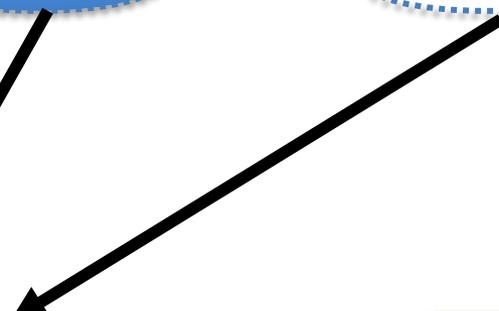
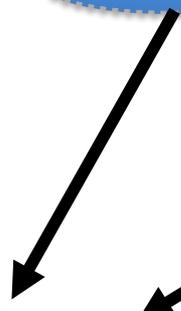
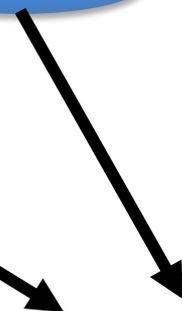
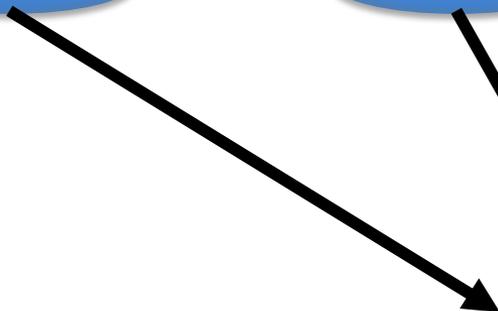
博物館C



博物館D

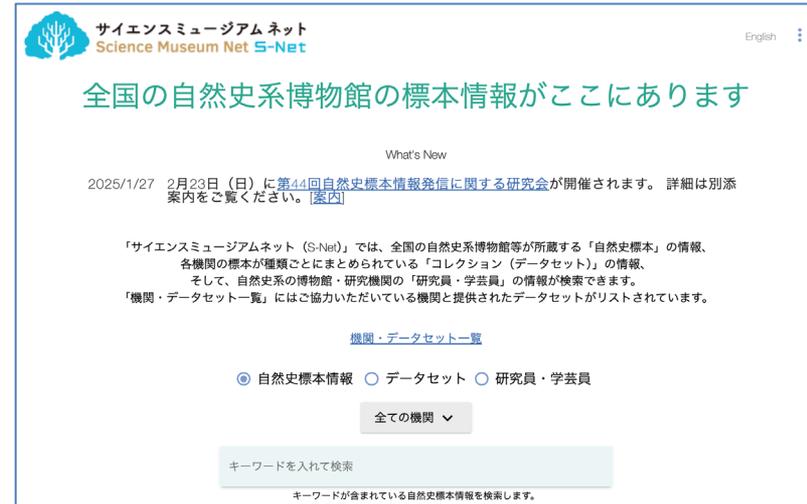


共有データ
ポータル



サイエンスミュージアムネット (S-Net)

- 国立科学博物館が運営する自然史系標本データの共有ネットワーク
- 博物館・研究所など100以上の機関
- 約780万件の標本等データ（2025年2月現在）
- 他のデータベースとの共有



The screenshot shows the homepage of the Science Museum Net (S-Net). At the top left is the logo, a blue tree-like shape, followed by the text 'サイエンスミュージアム ネット Science Museum Net S-Net'. On the top right, there is a language selector 'English' with a dropdown arrow. Below the header, a green banner reads '全国の自然史系博物館の標本情報がここにあります'. Underneath, a 'What's New' section features a news item dated '2025/1/27' about a symposium on specimen information release. A main content area explains that the site provides specimen information from various museums and research institutions, including collection (dataset) information and researcher/affiliate information. A link '機関・データセット一覧' is provided. Below this are radio buttons for '自然史標本情報' (selected), 'データセット', and '研究員・学芸員'. A '全ての機関' dropdown menu is also present. At the bottom, there is a search bar with the placeholder text 'キーワードを入れて検索' and a note 'キーワードが含まれている自然史標本情報を検索します.'

<https://science-net.kahaku.go.jp/>

「ミヤマカラスアゲハ」を検索



サイエンスミュージアム ネット
Science Museum Net S-Net

レコード種別

PreservedSpecimen (3,750)

機関名 (日本語)

姫路科学館 (607)

ふじのくに地球環境史ミュージアム (586)

[もっと見る](#)

コレクションコード

In (672)

IS (586)

[もっと見る](#)

国 (日本語)

日本 (3,304)

日本国 (55)

[もっと見る](#)

都道府県 (日本語)

北海道 (614)

栃木県 (276)

[もっと見る](#)

タイプ標本種別

Holotype (4)

学名

[ホーム](#) > 検索結果

自然史標本情報

該当件数: 3,750 件 (1-20件目)

20 件ずつ表示

ソート順

ダウンロード 絞り込み検索

1 2 3 4 5 6 >>

No	学名	和名	記録年月日 (始め)	国 (日本語)	都道府県 (日本語)	機関名 (日本語)
1	Papilio maackii maackii Menetries, 1859	ミヤマカラスアゲハ・名義タイプ亜種	*****			姫路科学館
2	Papilio maackii Menetries, 1858	ミヤマカラスアゲハ	19750518	日本	埼玉県	琉球大学博物館 (風樹館)
3	Papilio maackii Menetries, 1858	ミヤマカラスアゲハ	19920329	日本	北海道	琉球大学博物館 (風樹館)
4	Papilio maackii Menetries, 1858	ミヤマカラスアゲハ	19790813	日本	北海道	琉球大学博物館 (風樹館)
5	Papilio maackii Menetries, 1858	ミヤマカラスアゲハ	19910624	日本	鹿児島県	琉球大学博物館 (風樹館)

生物多様性情報とは？

おもに「種の多様性」に関するデータ
分類学的な情報が中心

- 分類群に関する情報（種名、上位分類群...）
- 分布に関する情報（標本、観察データ...）
- 種に関する情報（特徴、分布...）
- マルチメディア（画像、動画、音声...）
- 塩基配列（DNAバーコード...）

日本生物多様性情報イニシアチブ (JBIF)

- 日本の生物多様性データを国内外に発信
- 国立科学博物館・国立遺伝学研究所・国立環境研究所が運営を担当
 - 文部科学省ナショナルバイオリソースプロジェクト(NBRP)の補助を受ける

The screenshot shows the homepage of the Japan Initiative for Biodiversity Information (JBIF). The header includes the JBIF logo and navigation links for Home, About Us, and Contact Us. Below the header, there are sections for 'Home' with a grid of nature images, 'About this website' with a description of the project's goals, and 'New Information' and 'Event Information' sections. The 'New Information' section lists recent updates, including the 43rd Biodiversity Information Conference and the release of the JBIF Handbook. The 'Event Information' section features a banner for the 'Digital Archiving and Release of Biodiversity Data from the Natural History Museum' and lists upcoming events such as the XIX International Solanaceae Conference and a Zoom meeting.

<https://gbif.jp/>

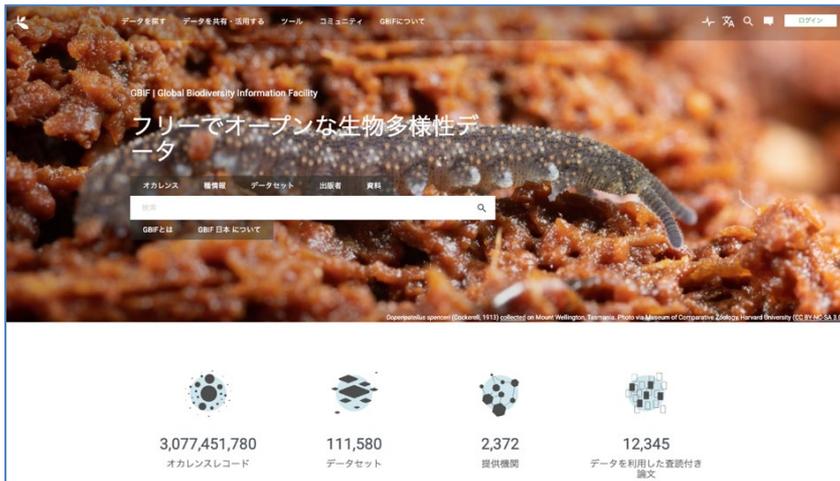
The screenshot shows the homepage of the National BioResource Project (NBRP). The header includes the NBRP logo and navigation links for Home, About Us, and Contact Us. Below the header, there are sections for 'Home' with a grid of nature images, 'About this website' with a description of the project's goals, and 'New Information' and 'Event Information' sections. The 'New Information' section lists recent updates, including the 43rd Biodiversity Information Conference and the release of the JBIF Handbook. The 'Event Information' section features a banner for the 'Digital Archiving and Release of Biodiversity Data from the Natural History Museum' and lists upcoming events such as the XIX International Solanaceae Conference and a Zoom meeting.

<https://nbrp.jp/>

地球規模生物多様性情報機構

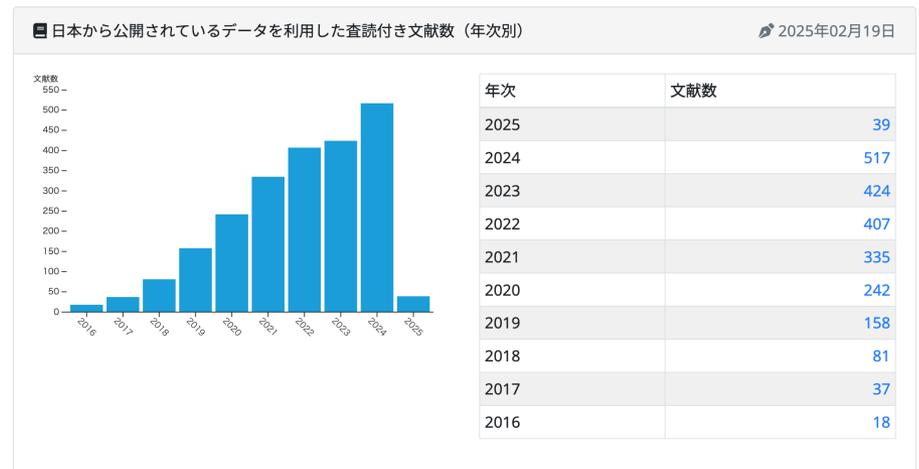
Global Biodiversity Information Facility (GBIF)

- 生物多様性情報を誰でも利用可能にするための国際組織とそのデータ基盤
- 30.8億件の標本・観察データを集積(2025年2月現在)
- JBIFが収集したデータはGBIFに提供され国際的に公開
→ 科学的研究・保全に関する活動に利用



<https://www.gbif.org/ja/>

GBIFウェブサイト(日本語版)



<https://gbif.jp/datause/stat/>

データを利用した査読付き論文数

デジタルアーカイブ＝様々なデジタル情報資源を
収集・保存・提供する仕組み全体

- コンテンツ(アナログ・デジタル)
- プレビュー(サムネイル等)
- メタデータ(コンテンツに関するデータ)

2022年4月成立の博物館法改正において
デジタルアーカイブ構築が博物館の事業として明記

標本・資料にとどまらないデジタル化
新しい切り口での活用の促進

国の動きとして...

The screenshot shows the JAPAN SEARCH homepage. At the top is the logo and the text "JAPAN SEARCH". Below it is the tagline "日本のデジタルアーカイブを探そう" (Let's explore Japan's digital archives). There are search filters for "木桶" (Kibaku), "りんご" (Ringo), "甲冑" (Kougou), "かばん" (Kaban), and "窓" (Mado). Below the filters are six main sections: "教育・商用利用可を検索" (Search for education/commercial use), "オンライン資料の検索" (Search for online materials), "ギャラリー" (Gallery), "利用ガイド" (Usage Guide), "利用事例" (Use Cases), and "連携機関一覧" (List of partner institutions).

教育・商用利用可を検索
教育や商用目的で素材として自由に利用できる資料を検索します

オンライン資料の検索
Web上で閲覧できる資料に絞って検索します

ギャラリー
連携コンテンツを様々な切り口で紹介します

利用ガイド
ジャパンサーチの使い方をご案内します

利用事例
ジャパンサーチを使った授業やイベントなど、様々な場面での活用事例を紹介します

連携機関一覧
ジャパンサーチと連携している機関の一覧です

<https://jpsearch.go.jp/>

ジャパンサーチの公開



「デジタルアーカイブ活動」のためのガイドライン

「デジタルアーカイブ活動」の
ガイドライン (2023.10) [CC BY]

デジタルアーカイブジャパン
推進委員会実務者検討委員会
による

「デジタルアーカイブ戦
略2026-2030」の策定に
向けた動き

令和5年9月

デジタルアーカイブジャパン推進委員会実務者検討委員会
(事務局 内閣府知的財産戦略推進事務局)

で、なにをしないといけなの？

標本・資料画像(写真)の公開

博物館における「デジタルアーカイブ」の基本

- 展示されていない標本の一般に公開
- 研究成果を担保する証拠
- 外部チェックによるデータ正確性向上
- 新規ニーズの発掘

標本の「付加価値」をあげる

標本画像データベースの構成要素

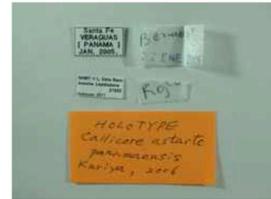
- 検索結果でのサムネイル表示
- 標本レコードから関連画像へのリンク
- 画像とその関連情報の表示

No.	登録番号	科名	種名	属名	種小名	地域名	都道府県名	採集年月日	
<input type="checkbox"/>	11	21850	シロチョウ科		Delias	nuydaorum	Benguet	1977/6/10	
<input type="checkbox"/>	12	21851	シジミチョウ科	ベニモンカラスシジミ	Fixsenia	iyonis	Qinghai	1982/7/	
<input type="checkbox"/>	13	21852	シジミチョウ科	ベニモンカラスシジミ	Fixsenia	iyonis	Gansu	1982/7/	
<input type="checkbox"/>	14	21853	アゲハチョウ科	オオルリアゲハ	Papilio	ulysses		1986/9/	
<input type="checkbox"/>	15	21854	アゲハチョウ科	ヘリボシオオルリアゲハ	Papilio	lorquianus		1992/1/	
<input type="checkbox"/>	16	21855	タテハチョウ科		Callicore	astarte	Veraguas	2005/1/	

https://db.kahaku.go.jp/webmuseum/col_a3_07/NSMT-I-L_21855

関連画像一覧

2件のデータがヒットしました。1~2件目のデータを表示しています。

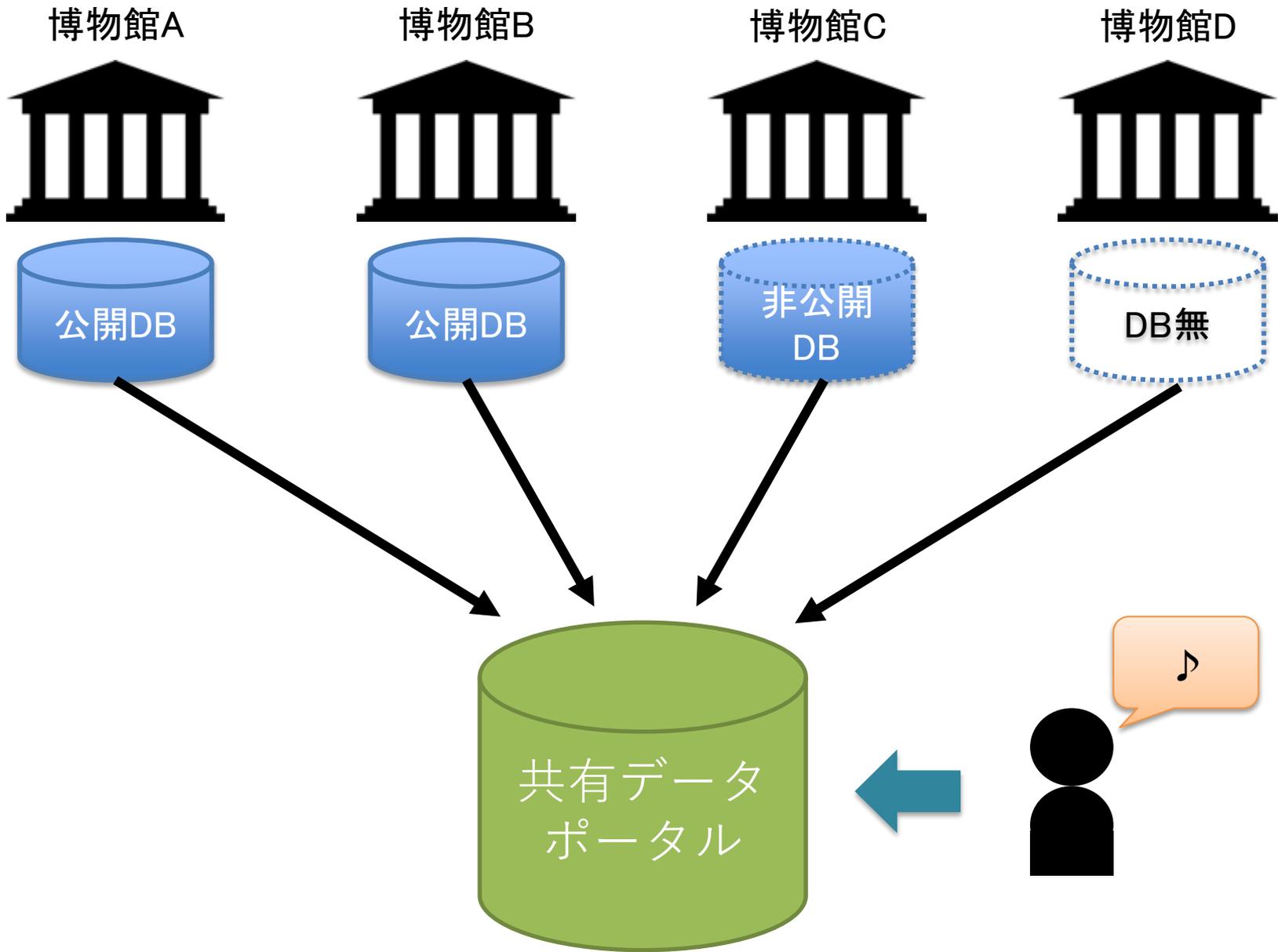


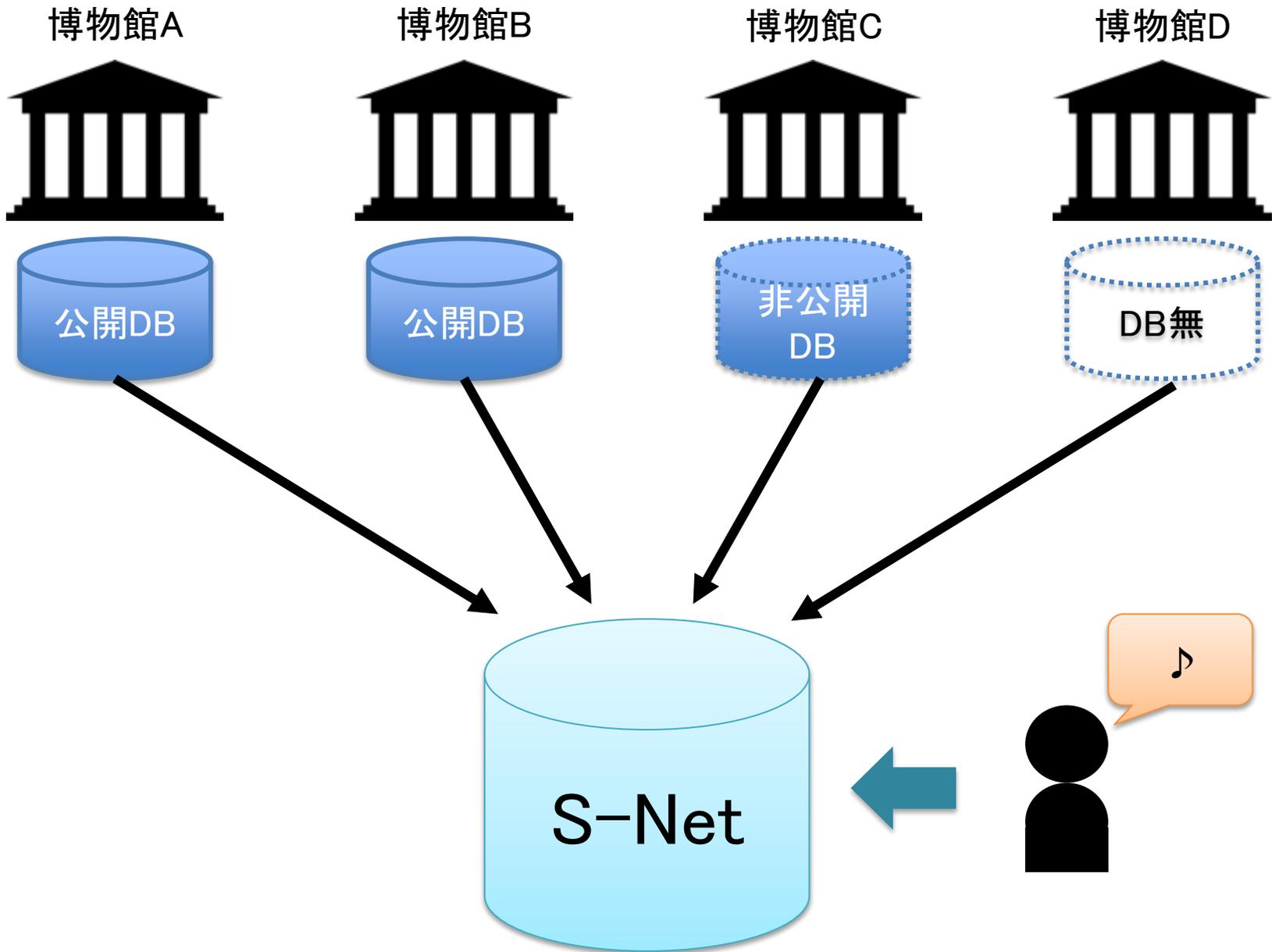
国立科学博物館
標本・資料統合データベース

標本・資料統合データベース > 詳細検索(チョウ目) > 検索結果一覧(チョウ目) > 詳細(チョウ目) > 画像表示

画像表示





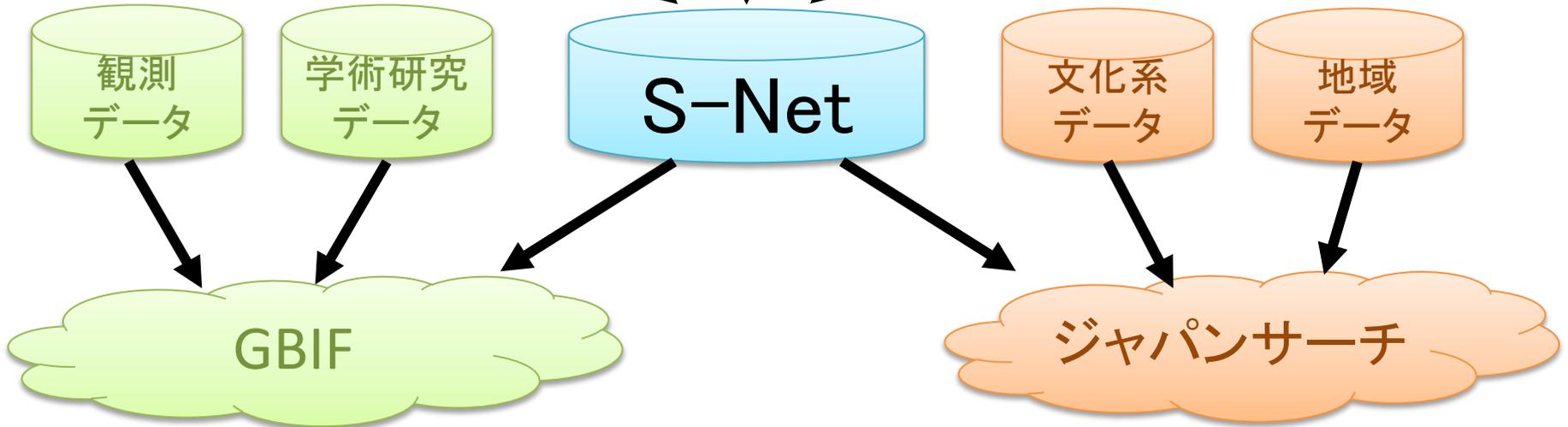


S-Netがつなぐ世界

生物多様性情報学
オープンサイエンス



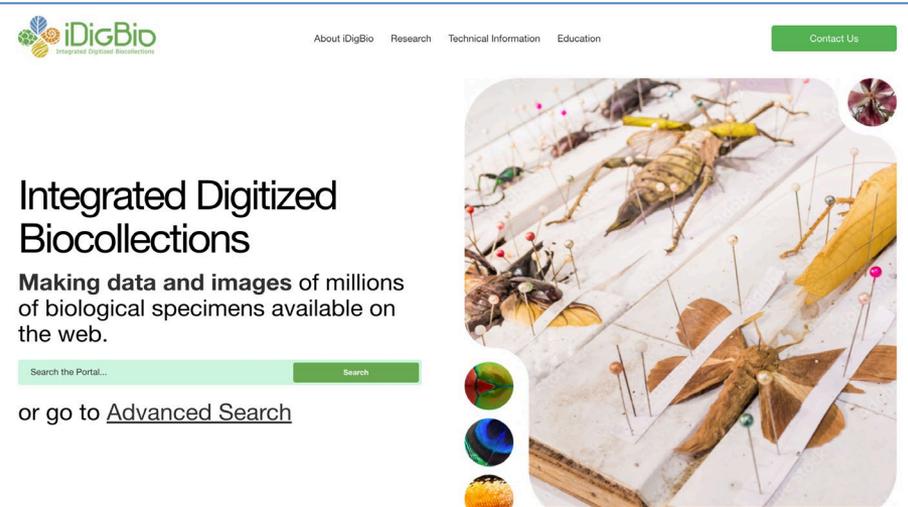
文化施設など
デジタルアーカイブ



S-Netは自然史系標本データの
「つなぎ役」(アグリゲーター)

S-Netは、自然史系標本データの
「つなぎ役」として
標本画像公開へどう貢献できるか？

関係しているところでは...



<https://www.idigbio.org/>

iDigBio (Integrated Digitized BioCollections)
アメリカの標本デジタル化・公開プロジェクト



<https://www.tdwg.org/conferences/2024/>

SPNHC-TDWG 2024
沖縄で開催された自然史コレクションの保全と生物多様性情報の国際合同学会

海外・他分野など先行事例から学び
日本の(自然史系)博物館としての方針を議論したい

プログラム

- 諸注意・趣旨説明 神保宇嗣(国立科学博物館)
- デジタル拡張標本の動きと世界動向 佐久間大輔(大阪市立自然史博物館)
- SPNHC-TDWG現地参加レポート！世界の画像収集・活用の最前線
柿添翔太郎・太田藍乃(国立科学博物館)
- 文化財分野においていかにデータ公開を進めているか
高田祐一(奈良文化財研究所)
- 画像アーカイブで内部業務を効率化する 海老原淳(国立科学博物館)
- 画像を公開していくためには何が必要か：
 - 学術情報流通における博物館の役割 大西亘(神奈川県立生命の星地球博物館)
 - S-Netを利用した画像公開に向けた課題 神保宇嗣(国立科学博物館)
- パネルディスカッション
- 閉会挨拶